

# ヤナセ川遺跡

全域地図 C - 3



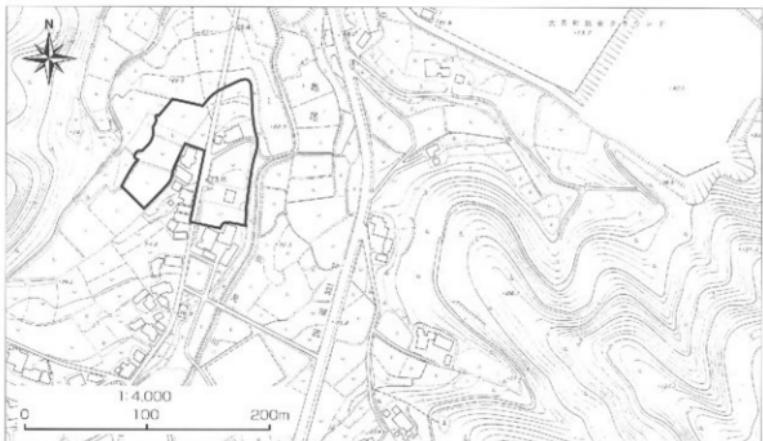
所在地 大月町弘見字ヤナセ川

現 状 田畠

時 代 繩文時代

特 徴 弘見川を臨む段丘上に位置する。

珪質頁岩の剥片が数点採集されている。縄文土器等は採集されないものの、縄文時代の可能性の強いものもある。



# 池田遺跡

全域地図 C・3



所在地 大月町鉢土字池田

現 状 田畠

時 代 旧石器時代

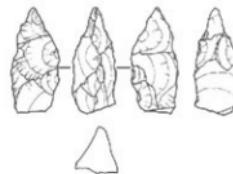
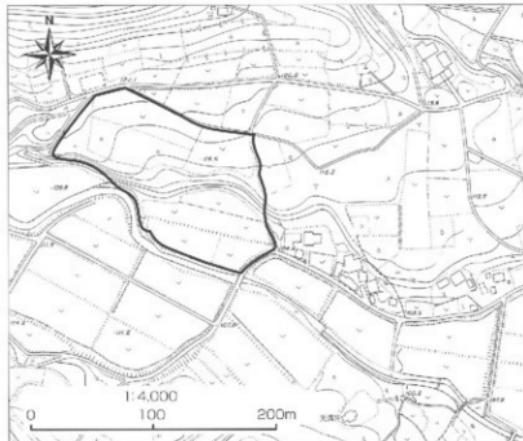
特 徴 頭集川の最上流部の谷間の段丘上に立地する。

旧石器時代の角錐状石器1点と剥片類が採集されている。

角錐状石器は頁岩製で本地域では初めての発見となる。他の剥片類数点は珪質頁岩製である。

## 表採資料実測図

縮尺1:2



# フキノ谷山遺跡

全域地図 C - 4



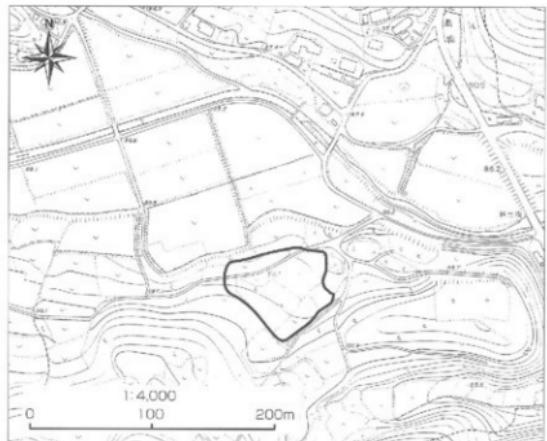
所在地 大月町鉢上字フキノ谷山

現 状 田畠

時 代 旧石器時代

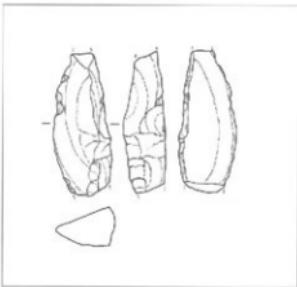
特 徴 鉢上の谷間部の開口部に位置する。

頭集川を見下ろす段丘上にあり、ナイフ形石器1点と石核、剥片類が採集されている。対岸の鉢上越遺跡でもナイフ形石器が同様に採集されており、鉢土の谷間にには旧石器時代の遺跡が点在する。



表採資料実測図

縮尺1:2



# 鉢土越遺跡

全域地図 C-3



所在地 大月町鉢上字鉢土越

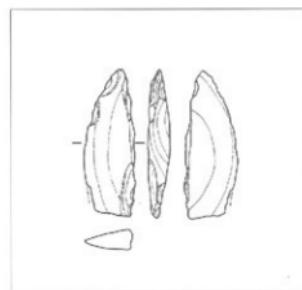
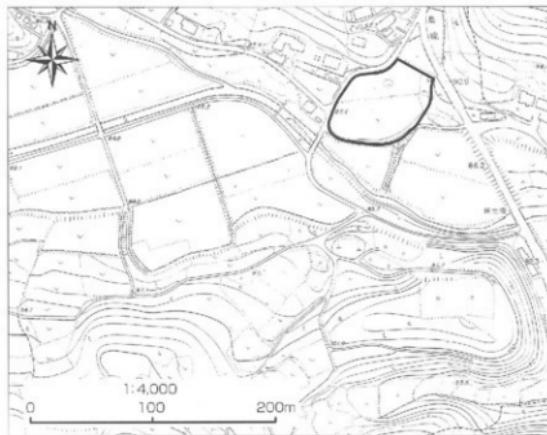
現 状 田畑

時 代 旧石器時代

特 徴 ナイフ形石器1点と剥片類が採集されている。頭集川を見下ろす北側の段丘にあり、対岸にはフキノ谷山遺跡が存在する。ナイフ形石器は頁岩製、剥片類は珪質頁岩製である。

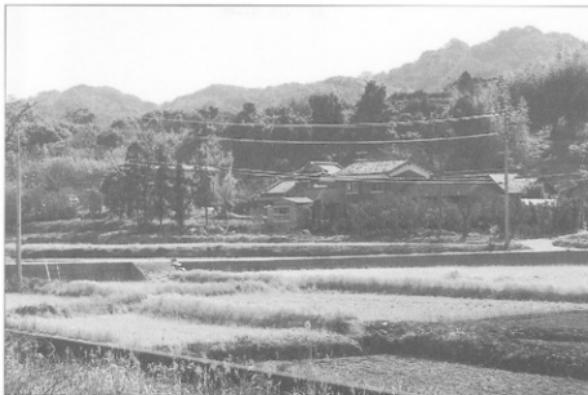
## 表採資料実測図

縮尺1:2



# タテ南附遺跡

全域地図 C-4



所在地 大月町頭集字タテ南附

現 状 田畠

時 代 繩文時代

特 徴 頭集川を見下ろす南側の段丘上に立地する。

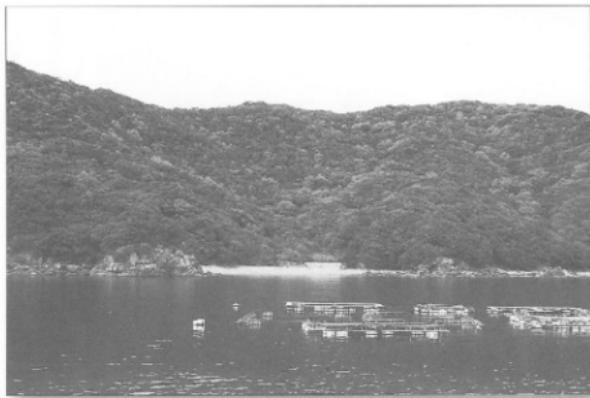
採集された遺物は加工痕のある大分県姫島産黒曜石の剥片  
2点である。

縄文時代の所産と考えられる。



# 赤高山遺跡

全域地図 C・5



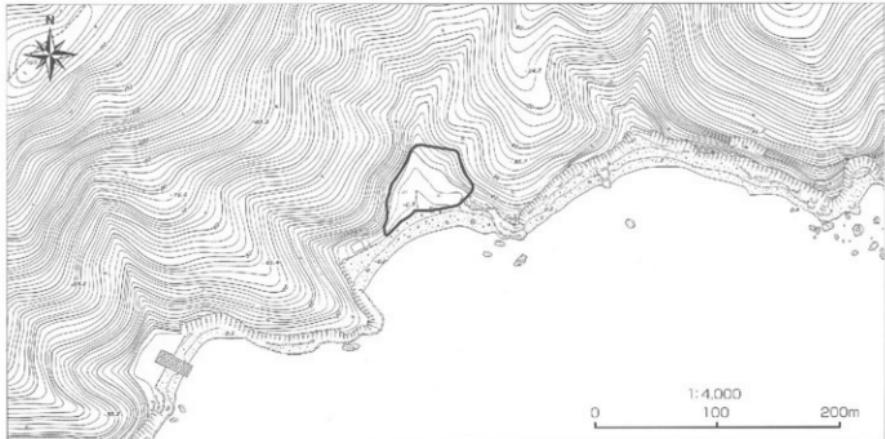
所在地 大月町頭集字赤高山

現 状 荒蕪地

時 代 不明

特 徴 古満目の河港口の北岸の海岸に迫り出した丘陵の谷間の僅かな平坦部に立地する。

波に洗われ1m程に崖となり、断面より土器が数点採集された。時期を特定できる土器は出土しておらず、時期は不明である。ただし、近世を遡ることは間違いなく、胎土中に石英が混入する。縄文時代の可能性があるものの、特定できていない。



# 竜ヶ迫遺跡

全域地図 B - 1



所在地 竜ヶ迫字タツガサコ

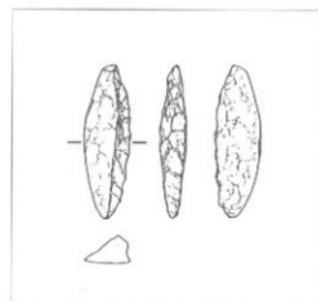
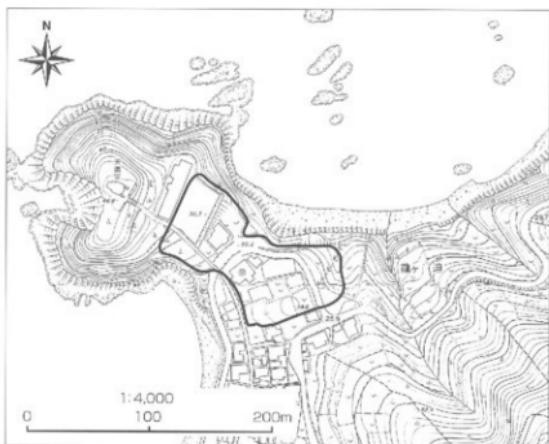
時代 旧石器時代

現状 宅地・畑

特徴 平成元年、天満宮の参道で旧石器時代の「ナイフ形石器」が採集された。高知県下には旧石器時代の遺跡は少ないとから、遺跡の内容を知るために平成4年8月に大月町教育委員会が高知県教育委員会の協力を得て学術調査を行ったところ、石器作りの際の石の剥片、原石等と共にナイフ形石器が出土した。高知県下では発掘調査により初めて旧石器時代の遺跡であることが判明した記念すべき遺跡である。

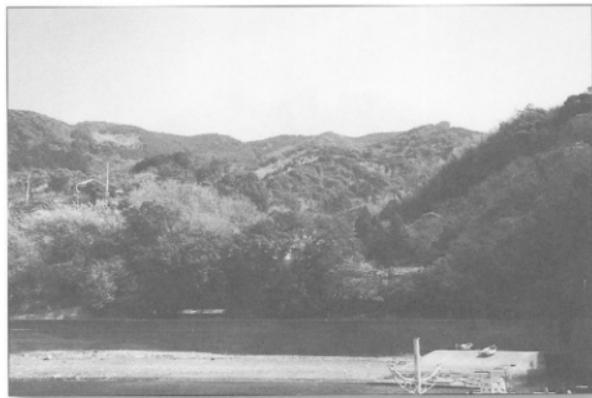
## 出土遺物実測図

縮尺1:2



# ムクリ山遺跡

全域地図 B-2



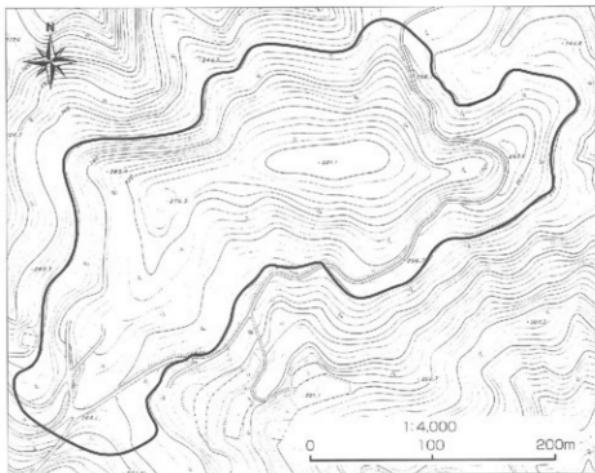
所在地 芳ノ沢字ムクリ山

種別 集落跡

時代 繩文時代～弥生時代

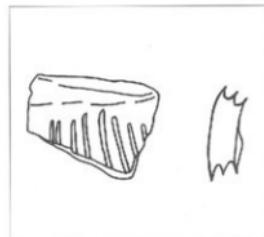
現状 山林

特徴 標高約300mのムクリ山の山頂近くに所在する縄文時代、弥生時代の遺跡で通常の平野部の遺跡と異なり、高所にあるところから「高地性集落」とも呼ばれる。昭和21年頃、開墾の際に土器が発見された。その後、昭和48年文部省科学研究「弥生系高地性集落址の研究」により大月町教育委員会が調査を行った。尾根部で弥生時代中期の平地住居跡を確認した。「高知県ムクリ山遺跡」や「高地性集落の研究(1997)」として成果が発表され、四国内では高地性集落としては最も西南部に位置することがわかった。



## 出土遺物実測図

縮尺1:2



# コヤケシタ遺跡

全域地図 C - 2



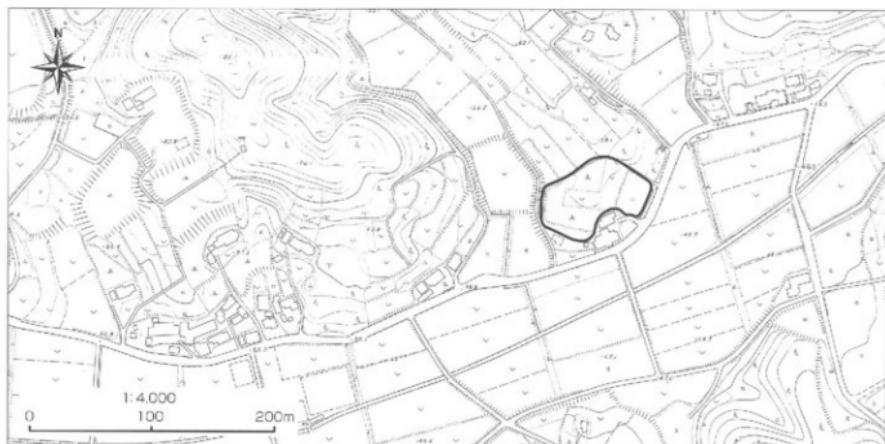
所在地 大月町芳ノ沢字コヤケシタ

現 状 田畠

時 代 繩文時代

特 徴 丘陵部端部に立地する。

採集された遺物は珪質頁岩製の剥片1点である。縄文時代の所産と考えられる。



# 添ノ川城ノ西遺跡

全域地図 C-2

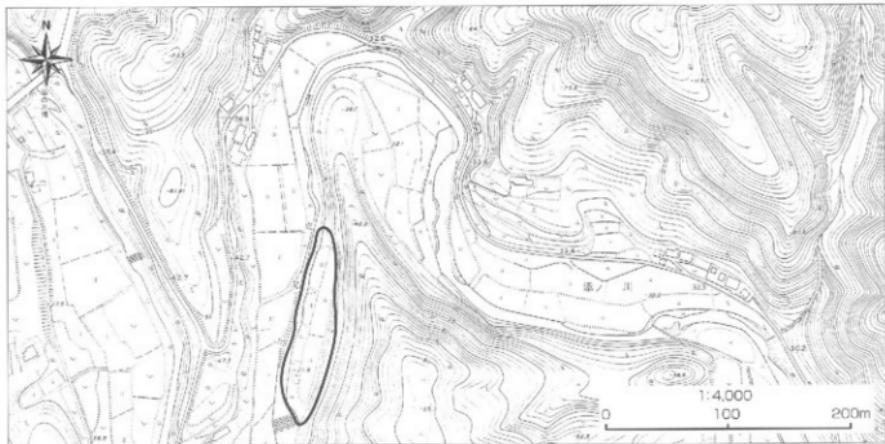


所在地 添ノ川字城ノ西

現 状 田

時 代 鎌倉～室町(詳細は不明)

特 徴 添ノ川城に伴う屋敷跡ではないかと考えられ、建物跡が発見される可能性がある。



# 添ノ川仲間屋敷遺跡

全域地図 C - 2



所在地 添ノ川字仲間屋敷

現 状 田

時 代 鎌倉～室町(詳細は不明)

特 徴 添ノ川城に伴う屋敷跡ではないかと考えられ、建物跡が発見される可能性がある。



# カルモ力遺跡

全域地図 E - 5

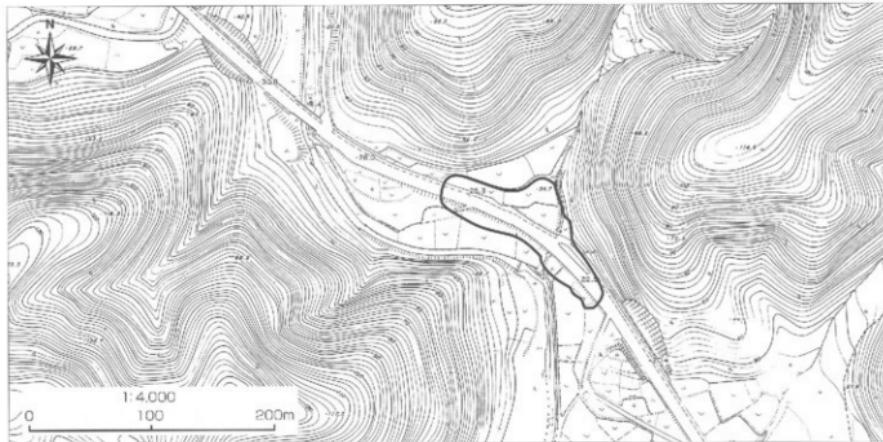


所在地 才角字カルモカ谷

現 状 畑・国道

時 代 繩文時代

特 徴 昭和50年頃、国道321号線の工事中に繩文時代の石斧が発見された。繩文時代でも最も古いもので高知県では数点しか知られていない。この石斧は木の伐採、加工などに使われたものと思われる。



# 尻貝遺跡

全域地図 C-4

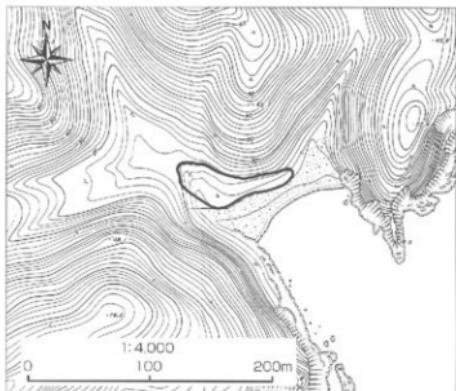


所在地 周防形字尻貝山

現 状 山林

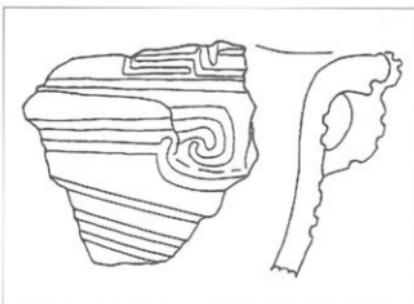
時 代 繩文時代・古墳時代

遺 構 昭和59年、宿毛市の釣り人により、縄文土器片が発見された。遺跡は小さな入り江の波打ち際からわずか20m程入った山の傾斜地で、遺跡の両脇には水量豊かな沢もある。大月町教育委員会が、高知県教育委員会の協力を得て平成元年9月に学術調査を行った。調査の結果、縄文土器(九州系統)の土器片がまとまって出土したことにより、今から3,500年ほど前に九州と交流をもっていたことが判明した。また古墳時代の土器や製塙土器が出土したことから海との関わりの深い遺跡であることがわかった。



## 出土遺物実測図

縮尺1:2



# 八反地遺跡

全域地図 D-3



所在地 春遠字八反地

現 状 田

時 代 室町時代

特 微 春遠地区で発見されている3つの散布地の1つで、1987年に遺跡分布調査の際、室町時代の土師質土器片、常滑窯片、備前片、青磁片を数点表面採集されたことによって八反地遺跡とした。

平成9年度に圃場整備事業に先立ち、大月町教育委員会が確認調査を行った結果、備前片、青磁片、砥石、須恵器甕片等中世の遺物は出土したが住居跡等の遺構を発見することはできなかった。



# エノ木谷遺跡

全域地図 D - 3



所在地 春遠字エノ木谷

現 状 田

時 代 室町時代

特 徴 春遠地区で発見されている3つの散布地の1つで、春遠城の西にある谷間で、1987年に遺跡分布調査の際、室町時代の土師質土器片、常滑窯片、近世磁器を数点表面採集されたことによってエノ木谷遺跡とした。平成10年度圃場整備事業に先立ち、大月町教育委員会が確認調査を行った結果、備前片、青磁片等が出土したが春遠城に関わりのあると思われる住居跡は発見することはできなかった。



# 神ノ木遺跡

全域地図 D・3

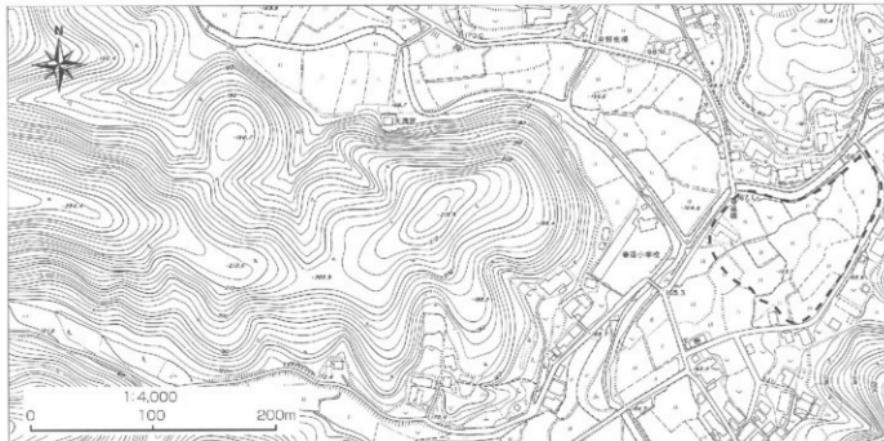


所在地 春遠字神ノ木

現 状 田

時 代 室町時代

特 徴 春遠地区で発見されている3つの散布地の1つで、春遠城の真下にあたる。1987年に遺跡分布調査の際、室町時代の備前片、青磁片、近世の陶磁器片(伊万里、唐津)を数点表面採集されたことによって神ノ木遺跡とした。平成10年度圃場整備事業に先立ち、大月町教育委員会が確認調査を行った結果、古銭、備前片、青磁片が出土したが、春遠城に関わりのあると思われる住居跡は発見することはできなかった。



# 弘見城跡

全域地図 C-3



所在地 弘見字古城ノ下

現 状 山林

郭 標高約140mの山頂部に東西に約110m、南北約120mの詰と、二ノ段が残存する。

堀 詰の西方に三条、南方に一条、東方に四条残存する。

土 壕 詰の東方に残存する。

特 徴 城跡は愛宕山の尾根伝い山頂部にあり弘見集落を一望できる中世の山城である。



# 岩田ヶ城跡

全域地図 A - 6



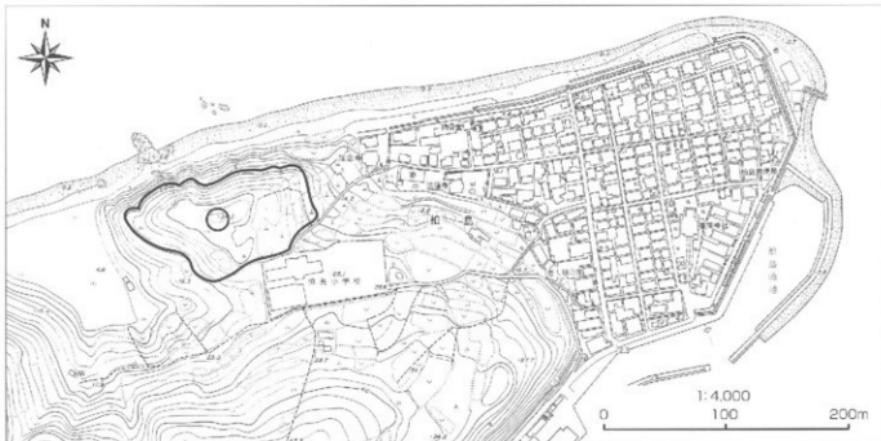
所在地 柏島字岩田ヶ城

現 状 竹林一部畠

郭 標高約35mの尾根先端部に東西に約50m、南北に約35mの  
詰と、二ノ段があり残存状況は比較的良好である。

特 徴 柏島の居住地と海上を一望できる。

海の交通の要であり、高知県西南端の城跡である。



# 安満地城跡

全域地図 B - 4



所在地 安満地字泊崎

現 状 山林

郭 標高約60mの尾根上に東西約40m、南北約30mの詰が残存する。

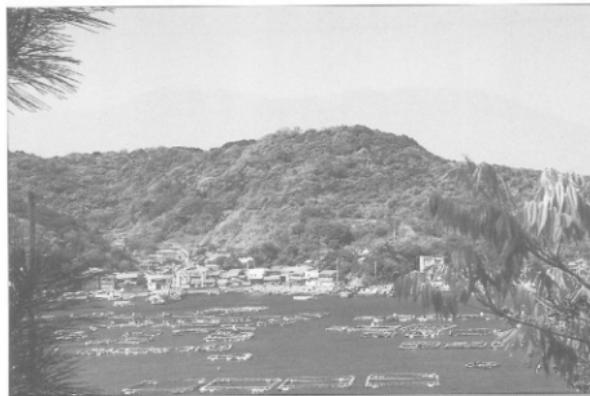
土 壈 詰の南側に残存する。

特 徴 詰、二ノ段、土壙、石垣等が残存するが、山全体が畠に開拓されていたようである。



# 橘浦城跡

全域地図 B-3



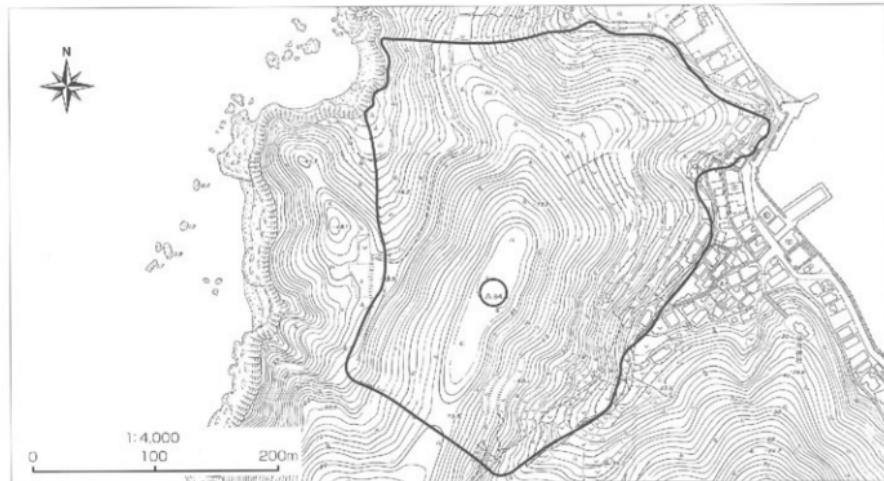
所在地 橘浦字コシ浦岬

現 状 山林

郭 標高約85mの山頂に東西約30m、南北約140mの詰と二ノ段、三ノ段が残存する。

土 墓 詰と二ノ段、三ノ段の間に石垣と土塁があり、周囲に石垣が残存する。

特 徴 城跡は山頂にあり、宿毛湾を一望することができる。  
大月町内では石垣で構築された数少ない中世の山城である。



# 古泊城跡

全域地図 B - 2



所在地 泊浦字シロノ峯

現 状 荒蕪地

郭 標高約55mの山頂に東西約40m、南北に約30mの詰が残存する。

土 壁 北側に残存する。

特 徴 泊浦に残存する城跡の一つで中世の山城である。



# 泊浦城跡

全域地図 B-2



所在地 泊浦字シロノヲ

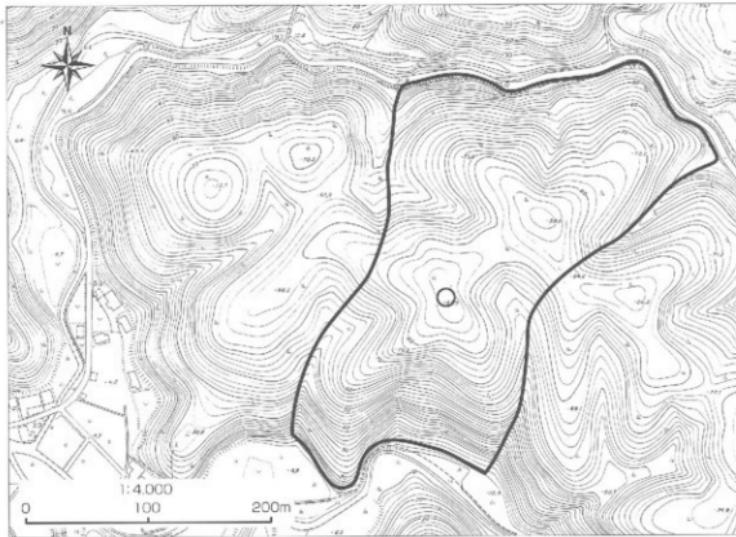
現 状 山林

郭 標高約90mの山頂に東西約65m、南北約40mの詰と二ノ段、三ノ段、四ノ段が残存する。

堀 四ノ段の東側に空堀が残存する。

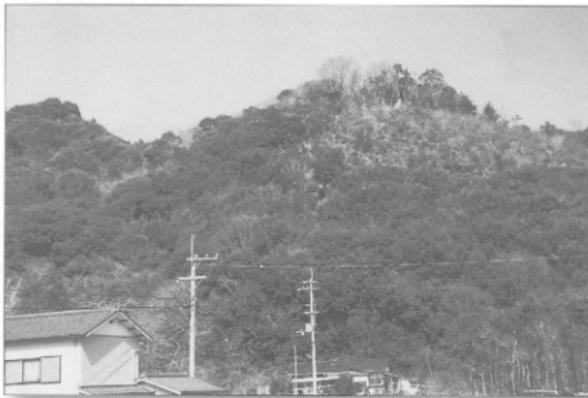
土 墓 四ノ段の東側に残存する。

特 徴 城跡はシロノヲ山頂部にあり、泊浦の港を一望できる。



# 西泊浦城跡

全域地図 B - 2



所在地 泊浦字シロノヲ

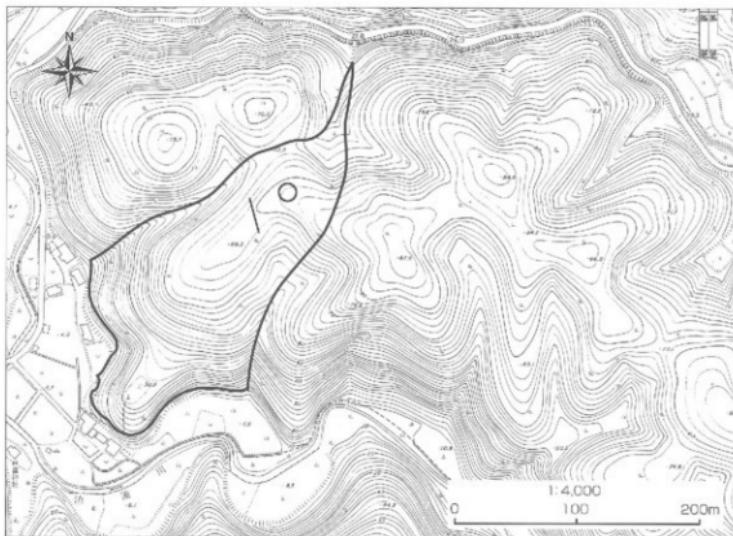
現 状 山林

郭 標高約65mの尾根上に東西約55m、南北約30mの詰と二ノ段、三ノ段、四ノ段が残存する。

堀 西側に空堀一条が残存する。

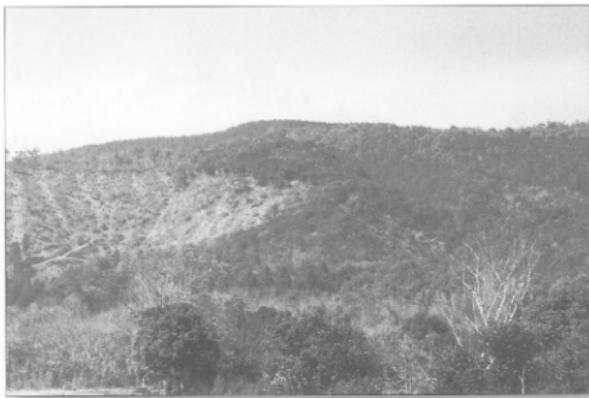
土 壁 西側に土壁が、詰の東南に石垣も残存する。

特 徴 城跡は尾根の山頂にあり、中世の山城である。



# 内平城跡

全域地図 A-2



所在地 芳ノ沢字ホリ山

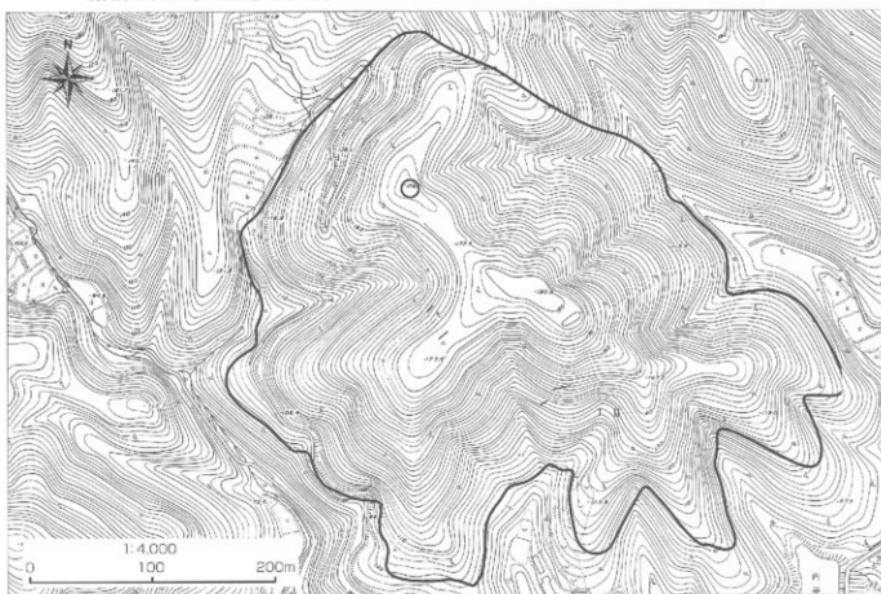
現 状 山林

郭 標高約180mの山頂部に東西に約50m、南北に約20mの詰が残存する。

堀 詰の東方約90mの所に横堀四条と竪堀一条があり、西方に二条の空堀が残存する。

土 壕 北方に残存する。

特 徴 城跡はホリ山山頂と内平よりの中腹にあるが山頂の城が先に築城され、その後、中腹の城が築城されたものと思われる。



# 正城跡

全域地図 C-1



所在地 芳ノ沢字正城

現 状 畑、山林

郭 標高約75mの位置に南北に約40m、東西に約25mの詰が残存する。

堀 詰の南側に一条、北側に一条の空堀と、それに続き東側に堅堀一条が残存する。

特 徴 昭和62年調査時に郭、堀、土塁はあったが、現在大部分が消滅している。



# 芳ノ沢城跡

全域地図 C-7



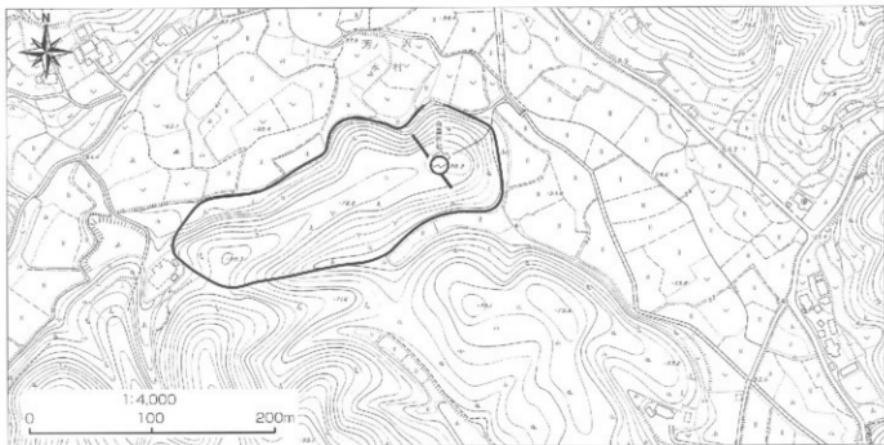
所在地 芳ノ沢字古城

現 状 白皇神社、山林

郭 標高約70mの位置に東西に約50m、南北に約40mの詰が残存する。

堀 西側に一条の空堀が残存する。

特 徴 城跡は古城の山頂、尾根先端部にあり、本村地区一帯を一望できる中世の山城である。



# 添ノ川城跡

全域地図 C-2



所在地 添ノ川字城山

現 状 山林

郭 標高約90mの山頂先端部に東西約40m、南北約60mの詰と二ノ段が残存する。

堀 南側に東西に向かって一条残存する。また、空堀の東方より北に向かって横堀と竪堀が残存する。北側に東西にむかって二条残存する。この二本を結ぶように南北に一条残存する。

特 徴 地理的には旧奥内・月灘・小筑紫を結ぶ重要な位置にある中世の山城である。現存する城跡の中では残存状況の最も良い城跡の一つである。

